

# 第133回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年4月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,121	-1.49	0.04	4,073	-0.34	0.19
東部地区	14,346	-0.04	0.54	5,562	1.64	1.45
西部地区	10,763	0.68	0.08	3,901	3.50	0.46
駅南地区	6,389	0.44	0.86	2,595	1.09	1.60
半田地区	3,522	2.08	0.42	1,281	4.48	0.86
横山地区	5,672	0.67	0.17	1,839	1.60	0.65
茨目・田尻地区	6,933	0.72	-0.14	2,317	1.26	-0.08
荒浜地区	5,286	0.41	0.18	2,018	2.28	0.14
その他地区	21,889	-1.44	-0.02	7,246	-0.49	0.12
西山町地区	6,590	-2.21	-0.37	2,158	-1.37	-0.04
高柳町地区	2,121	-3.19	-0.28	862	-2.37	0.00
柏崎市計	93,632	-0.44	0.14	33,852	0.91	0.53
刈羽村	4,998	-0.02	0.02	1,514	1.47	0.13
小国地区（長岡市）	6,666	-2.11	-0.05	2,150	-0.37	0.04
出雲崎町	5,394	-1.71	-0.18	1,827	-0.10	-0.10
合計	110,690	-0.59	0.11	39,343	0.81	0.45

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で657人、0.59%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が418人、0.44%、刈羽村が1人、0.02%、小国地区（長岡市）が144人、2.11%、出雲崎町が94人、1.71%とそれぞれ減少している。

また、前月比においては、柏崎市が136人、0.14%、刈羽村が1人、0.02%と増加しており、小国地区が4人、0.05%、出雲崎町が10人、0.18%と減少したものの、全体では123人、0.11%の増加となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が307世帯、0.91%、刈羽村が22世帯、1.47%の増加となり、小国地区が8世帯、0.37%、出雲崎町が2世帯、0.10%と減少したが、全体では319世帯、0.81%の増加となった。

また、前月比においても柏崎市が179世帯、0.53%、刈羽村が2世帯、0.13%、小国地区が1世帯、0.04%と増加、出雲崎町が2世帯、0.10%と減少した結果、全体では180世帯、0.45%の増加となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,214		-10.00		-6.90	
月間有効求職者	1,283		-10.02		0.00	
月間有効求人倍率	0.95	0.90	0.00*	0.00*	-0.07*	-0.07*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が1,214人と前年同月比で135人、10.00%の減少、前月比でも90人、6.90%の減少となった。

一方、月間有効求職者数は1,283人と前年同月比で143人、10.02%の減少、前月比では増減なしとなっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.95倍と前年同月比で増減なし、前月比では0.07ポイント下回っている。なお、県平均0.90倍に対しては0.05ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が448人と前年同月比で6人、1.36%の増加となったものの、月間新規求職者数では401人と前年同月比で95人、19.15%と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は1.12倍と前年同月0.89倍を0.23ポイント上回った。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年4月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	37	-4	-9	37	-4
共 同 住 宅	4	4	1	4	4
事 務 所	0	0	-2	0	0
作 業 所 ・ 工 場	5	4	5	5	4
営 業 建 物	2	-1	1	2	-1
公 共 建 物	0	-1	0	0	-1
そ の 他	8	-3	-1	8	-3
合 計	56	-1	-5	56	-1

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月申請合計が前年同月比で1件の減少、前月比でも5件の減少となり、工種全体では56件の申請となった。工種別内訳の主な増減をみると、前年同月比では一般住宅（併用）で4件、その他で3件の減少、共同住宅で4件、作業所・工場で4件の増加となり、前月比では一般住宅（併用）で9件の減少、作業所・工場で5件の増加となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が27件、増築が20件、改築が9件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数については、市内施工業者が28件（うち新築12件、増築9件、改築7件）、市外施工業者が9件（うち新築6件、増築2件、改築1件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,513	0.24	-0.20	19,593	-2.55	-9.40
電 力	12,308	-2.70	-1.29	46,454	-0.06	-4.46

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で160口、0.24%の増加となったものの、前月比では135口、0.20%の減少となった。一方、電力では前年同月比で342口、2.70%の減少、前月比でも161口、1.29%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月比で513kwh、2.55%の減少、前月比では2,034kwh、9.40%と大幅に減少している。一方、電力も前年同月比で31kwh、0.06%の減少、前月比でも2,171kwh、4.46%の減少となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,892,470	-4.0	6.3	703,665	-4.7	9.1
営 業 用	265,312	-6.3	-8.7	129,381	-1.5	12.5
工 場 用	433,979	31.7	-19.9	142,119	-7.8	2.0
官 公 学 校 用	453,114	-9.0	-30.7	76,292	-3.6	-11.0
そ の 他				108	-53.2	-56.8
合 計	3,044,875	-1.2	-6.8	1,051,565	-4.7	6.7

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域のガス供給量は、用途全体では前年同月比で1.2%の減少、前月比でも6.8%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用を除く全ての用途で減少しており、前月比では家庭用を除く全ての用途で減少している。

一方、水道給水量は、用途全体では前年同月比で4.7%の減少となったものの、前月比では6.7%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で減少しており、前月比では官公学校用、その他を除く全ての用途で増加となっている。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	73,799	2.50	-0.19	77,062	2.36	0.14
西 山	38,521	1.82	0.74	34,562	0.15	0.58
米 山	22,141	10.03	14.09	19,978	11.20	12.15
合 計	134,461	3.47	2.18	131,602	3.01	1.91

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で4,515台、3.47％の増加、前月比でも2,876台、2.18％の増加となった。

一方、出口においても、全体では前年同月比で3,848台、3.01％の増加、前月比でも2,475台、1.91％の増加となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では全てのインターにおいて入口・出口共に増加しており、前月比では柏崎インターの入口を除く各インターの入口・出口共に増加している。特に米山インターでは前年同月比・前月比共に二桁台の増加率となっている。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	339,557	1.39	1.40	138,055	0.33	-1.95
平 残	330,496	0.81	1.50	136,946	-1.03	-0.93

預金は、末残が前年同月比で4,661百万円、1.39％の増加、前月比でも4,711百万円、1.40％の増加となった。また、平残においても前年同月比で2,680百万円、0.81％の増加、前月比でも4,894百万円、1.50％の増加となっている。

一方、貸出金は末残が前年同月比で465百万円、0.33％の増加となったものの、前月比では2,753百万円、1.95％の減少となり、平残においては前年同月比で1,434百万円、1.03％の減少、前月比でも1,295百万円、0.93％と減少している。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,600	2.43	9.14
交 換 金 額	4,660	14.20	20.47
不 渡 り 手 形 枚 数	6	0.00	200.00
不 渡 り 手 形 金 額	3	-36.43	-42.54

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、交換枚数が前年同月比で133枚、2.43％の増加、前月比では前月末日の休日要因から469枚、9.14％の増加となっている。また、交換金額も同様に前年同月比で580百万円、14.20％の増加、前月比では792百万円、20.47％の大幅な増加となった。なお、不渡手形は6枚、3百万円発生しており、前年同月比で同枚、2百万円減少、前月比では4枚増加、3百万円減少となっている。

平成19年4月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は7件（前年同月3件、前月7件）、負債総額265億円（同5億円、同196億円）、1件当たりの負債額37億円（同1億円、同28億円）となっている。なお、柏崎地域では発生していない。

県内地区別では下越地区5件（新潟市3件、佐渡市1件、北蒲原郡1件）、中越地区2件（長岡市1件、三条市1件）、上越地区では発生していない。業種別は建設業2件、製造業2件、販売業2件、サービス業・その他1件で、倒産原因別の状況は全て販売不振となっている。

県内企業倒産は、大型倒産（負債10億円以上）が4件、負債総額69億円発生していることから、全体では前年同月比で4件、負債総額260億円の増加、前月比で件数が同数、負債総額69億円の増加となっている。

今年は4月に入り倒産件数、負債総額は共に増加基調となっており、小規模倒産を主体としつつも、中堅クラス企業の再生・処理が進む可能性もあり、今後も予断を許さない状況が続くものと思われる。